

指定校推薦枠や部活動の大会実績、
栗山高校の特色を盛り込んだPRチラシ

Let's Enjoy

KURIYAMA HIGH SCHOOL

1

進学に就職に！多彩で充実の進路選択

大学、短期大学、看護・専門学校への進学や公務員、民間企業への就職も進路決定率100%

指定校推薦枠

北海学園大学、北星学園大学、北海道情報大学
札幌大学、札幌学院大学ほか私立大学や短期大学等多数
※上記は平成31(2019)年の実績

●平成31(2019)年には道外公立大学(北九州市立大学)へも進学しています。

2

スポーツも文化も好成績！活発な部活動

運動部

野球部／弓道部／バスケットボール部
テニス部／サッカー部

文化部

美術部／書道部／放送局／吹奏楽局

弓道部、テニス部、美術部、書道部が全道大会出場

●令和元(2019)年10月時点の成績です。個人では水泳競技でも全道大会出場しています。

3

体験・実習が豊富！栗高ならではの教育

キャリア教育

インターンシップや「くりやま塾」など栗山町と連携したキャリア教育の実施

体験・実習

栗山町立北海道介護福祉学校との連携による介護実習体験や里山環境保全活動、小中高ふるさとキャリア教育体験発表会の実施

学校行事

生徒主体による学校祭や生徒会・ボランティア活動など充実した魅力的な学校行事

～栗山町は、栗山高校の魅力づくりを応援しています～

昨年 11 月、町内および近隣中学校生徒・保護者へ延べ 1,000 枚を配付

◆栗山中学校アンケート調査から
昨年、教育委員会では栗山中学校生徒と保護者を対象に「高校進学に関するアンケート調査」を実施しました。
アンケートの設問は、高校選択や学科選択の志望状況、高校選択で重視する要素、高校で学びたい分野(コース)、栗山高校に求める学校像など、自由記述項目も含め全部で8項目を設定。自由記述では、部活動や学力向上に関するもの、学校行事など校風に関するもの、学科やコースに関するもの、給食や制服に関するものなど、多様な意見が出されました。

高校進学に関するアンケート調査の概要

【目的】

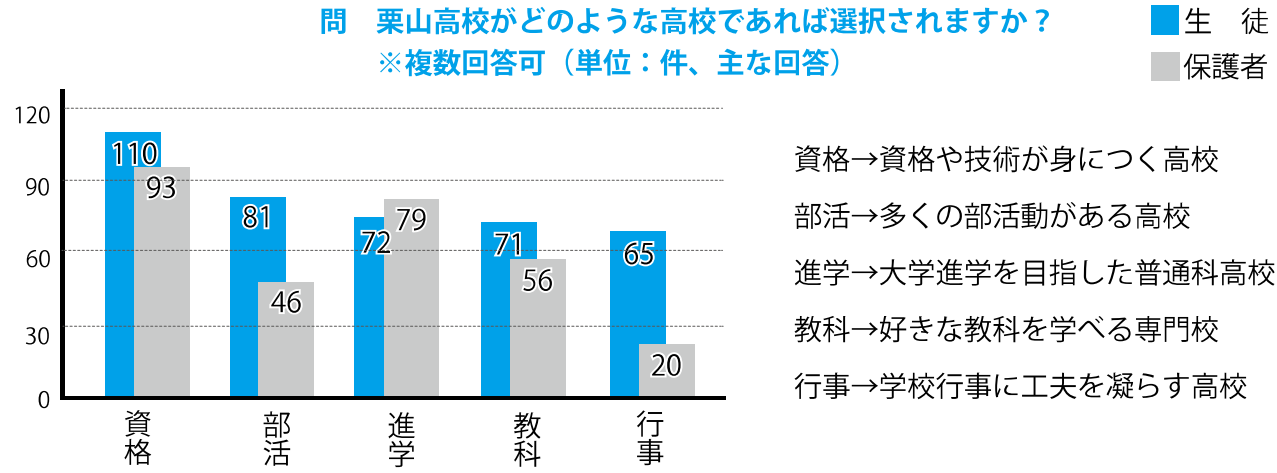
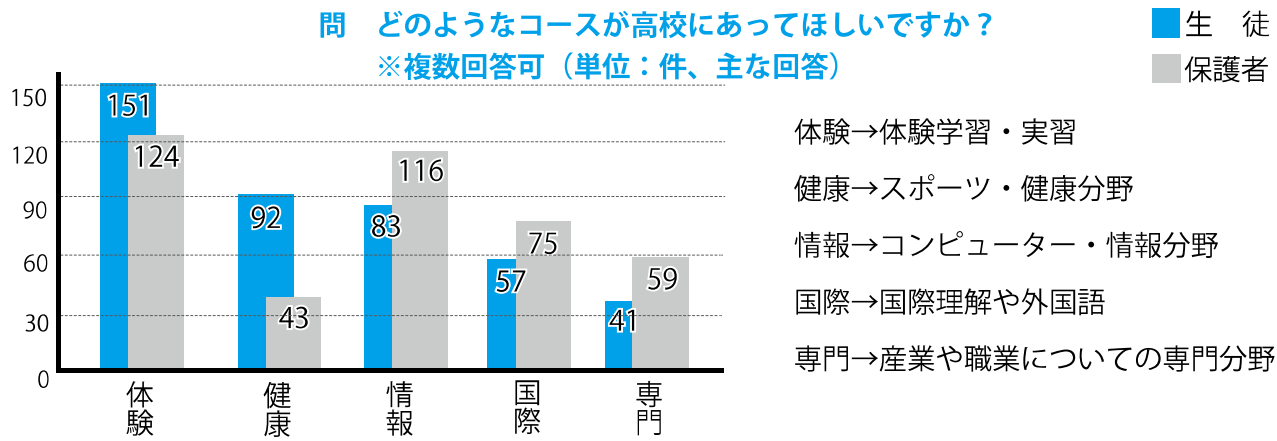
栗山高校が「魅力ある学校・選ばれる学校」となるよう、栗山中学校生徒と保護者を対象に実施し、その結果の分析を行い、今後の取り組みの参考とする。

【期間】

・生徒…令和元年7月22日(月)～24日(水)
・保護者…令和元年8月19日(月)～23日(金)

【回答率】

・生徒計…95.2% ・保護者計…83.7%
・合計…89.4%



◆令和2年度は2間口維持
令和2年度における栗山高校の入学者は54人で、前年度と比較して21人、率にして64%増となりました。
令和元年度の入学者の状況や、今後の栗山高校の入学者数の動向、さらには、道教委が策定する公立高等学校配置計画案の内容を鑑み、まちを挙げて栗山高校を支援する活動を活性化させるべく、昨年7月に町内各層により構成された「北海道栗山高等学校を支える会」の総会を開催。8月には「栗

魅力ある学校・選ばれる学校へ
栗山高校の存続に向けて



入学者数の推移（5年間）

年 度	入学者数	学級数	町内中学校からの進学率
平成28年度	64人	2	36.44%
平成29年度	58人	2	31.25%
平成30年度	52人	2	34.26%
平成31年度	33人	2→1	22.09%
令和2年度	54人	2	37.23%

※入学者数は毎年5月1日現在の学校要覧の在籍状況です。

山町高校問題協議会」として「栗山高校普通科の2間口維持」について、道教委佐藤教育長へ要望書を提出するなど、精力的な要望活動が展開されました。
その結果、昨年9月公表の配置計画では、募集間口の2間口維持という内容で、今年度の募集動向が注視されていましたが、入学者選抜の結果2学級編制となり、2間口維持が実現されました。



栗山高校学校祭の様子

◆栗山町の支援補助金活用実績
町では平成27年度以降、栗山高校生徒の資質向上などを目的に、町独自の各種資格取得受験料助成制度を開始。令和元年度からは新たに部活動対外派遣費や各種模擬試験受験料の助成、青少年海外派遣事業「少年ジェット希望の翼」の栗山高校生徒枠の創設など、より魅力ある学校づくりのための支援策を拡充しました。
令和元年度の活用実績は下表のとおりです。令和2年度では、昨年実施した高校進学に関するアンケートの声やまちづくり懇談会などの栗山高校支援策に関する意見の調査・研究をはじめ、生徒確保を観点とする新たな支援項目について「北海道栗山高等学校支援検討委員会」での検討を進め、令和3年度以降の支援策として制度化を進めていく予定です。

支援補助金の活用実績（令和元年度）

事業内容	件 数	補助金額	主な支援メニュー
部活動対外派遣費補助	7件	296,118円	全国高等学校総合文化祭書道出品など
学習支援ソフト使用料補助	132件	514,096円	高校生132人分
進学模擬試験受験料補助	31件	48,120円	高3総合学力記述模試、高2総合学力テスト、看護模試など
資格取得受験料補助	139件	181,360円	漢字能力検定3級、簿記能力検定3級など
海外研修補助	2件	796,000円	「少年ジェット希望の翼」の参加費補助（1・2年生）
合 計	311件	1,835,694円	

※公務員模擬試験は、受験料無料の試験で対応のため補助実績はありません。

募集中

町民参加の機会を広げるため、各種審議会・委員会などの公募を推進します

まちづくり審議会・委員会

- 応募資格**
町内に在住、在勤または在学されている満18歳以上の方
※3機関以上の町の審議会・委員会などの委員の方は応募できません。
- 応募方法**
専用の申込書に必要事項を記入し、下記の申込先まで提出
※申込書は下記の申込先でお渡しするほか、町ホームページからもダウンロードできます。
※申込書の提出は郵送、FAX、Eメールのいずれかで構いません。
※申込書は返却しません。
- 決定方法**
申込書による書類選考および面談

栗山町子ども・子育て会議委員

幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援を進めるため、有識者や関係者などで協議します。

- 公募人数** 3人(総委員数20人以内) **■申込期限** 5月29日(金) 必着
■任期 第1回委員会議の日(7月予定)から令和4年3月31日まで(2年間)
■会議など 平日の夜間(90分程度)開催、年2～3回程度
※この会議は原則公開です。会議1回につき4,000円の謝礼と交通費を支給します。

- 申込先・問い合わせ**
町福祉課福祉・子育てグループ
☎73-2222 FAX73-2266 Eメール hukushikosodate-g@town.kuriama.hokkaido.jp

No.45

新しい力で栗山を元気に!地域おこし協力隊です

「地元愛」を込めて栗山を発信

皆さんこんにちは!地域おこし協力隊の井上です。

令和2年度になり、地域おこし協力隊としての任期も残り1年となりました。先日、佐々木学町長より委嘱状をいただき、2年間の活動と今後の展望について報告させていただきました。そして私たち、井上、金谷の二人は今年度、新規事業を立ち上げます。テーマは「プランディング」です!

くりやまちようPR隊の活動の軸としていた「若者のまちくりやま」を実現させるため、今まで以上にたくさんの「人」や「情報」が栗山町に集まり、「賑わい」と「なりわい(働ける場)」を作り出したい。その一歩は、駅前商店街にオープンした「cafe&barへりこくら」と

「guesthouseくりこま」と。その次の展開として、栗山町の人の温かさ、熱い思いを持っている方々と一緒に、まだ伝えきれない町内の素晴らしいものを

を全国の人に届けられる事業を行います。

第1弾として地元愛を表現したオリジナルTシャツの制作を始めています。さらに、熱い思いが込められた農作物を購入できる通販サイトを開設します。作り手の思いが伝わるよう、作業の様子取材し、サイトに掲載したいと思っています。全国の皆さんが栗山町を身近に感じられる、そんなサイトを目指し、現在奮闘中です!

「くりやまブランド」に関する情報はインスタグラムとTwitter (@Chestnut&Market または #チェスナッツアンドマーケット) を開設しましたので、ぜひご覧ください!

【問い合わせ】

町PR隊事務所
☎7729
cafe & barへりこくら2階
(旧昭和堂時計店)



◆未来像を話し合う町民組織「魅力づくり委員会」

昨年2月に設置した「栗山高等学校の魅力づくり委員会」では、これまで5回の委員会を開催し、栗山高校を取り巻く状況や道立高校の出願状況など情報共有を図るとともに、道教委が策定する「公立高等学校配置計画」に関する現状把握に努めました。また、10月には国立大学法人小樽医科大学の安宅教授をアドバイザーとして招聘し、学識経験者の立場から先進地事例を交え、全国・道内の特色ある取り組みに関する講話や、町の地域特性(魅力)を生かした高校づくりに関する提言をいただきました。

令和2年度は、それらを基に引き続き地域としてどのような教育目標や教育内容を重視するか十分議論した上で、栗山高校が持続可能な地域での高校づくりに資する議論を展開し、年度内には一定の方向性をまとめ、魅力づくり委員会より町長への報告が行われる予定です。

◆魅力ある・選ばれる学校づくり

地元の学校づくりの取り組みや高校存続に対する町民の熱意によ



「地元の生徒を地元に育てる」

栗山高校 町田英謙校長

この4月、北海道栗山高校に着任しました町田英謙と申します。

全国的な少子化により、道内の高校でも各地域で閉校や統合が毎年のように行われています。本校も十数年前には4間口でしたが、現在は2間口を維持することが大変な時代となりました。2年前に入学生の減少により、設置者である道教委から1間口減の通知があり「本校の2間口維持」のため、町教委や、本校を支える会など、さまざまな団体からご尽力をいただきました。その成果もあり、令和2年度は54人の新入生を迎えることができました。

「選ばれる学校」として、活気ある、安全・安心な学校生活を送れるように「地元の生徒を地元に育てることのできる」環境整備に努めて参りたいと思います。

り、公立高等学校配置計画における栗山高校募集間口の2間口維持、入学者数54人の2学級編制となりました。

しかし、今後の中学校卒業見込者数や、道教委が進める道立高校の再編整備に関する動向を踏まえると、栗山高校を取り巻く環境は依然として厳しい状況に変わりはありませぬ。

今後も、栗山高校の存続に向けて、間口維持の取り組みをはじめ、栗山高校と連携した生徒募集

活動、さらには、魅力づくり委員会での議論を展開し、栗山高校が持続可能な地域での教育機会を提供できる学校となるよう、危機感を持って取り組みを進めていきますので、町民皆様のご支援・ご協力をお願いします。

【問い合わせ】

町教育委員会学校教育課
学校経営改善室
☎1117

栗山町の景観写真

大募集

令和元年6月1日以降に栗山町内で撮影された写真をご応募ください。住所年齢問わず誰でも応募可能です。グランプリには2万円相当の町特産品を贈呈!こども賞アリ!詳しくは町ホームページでご確認ください。

【問い合わせ】町建設課技術グループ
☎73-7513

第6回 くりやま景観フォトコン

締切間近!

【締切】
令和2年5月31日(日)

